

2007年10月22日

中国北京 BICES 2007 出張報告

出張目的：BICES 2007 展示会に日本パビリオンを設営し、会員企業の商機の拡大に協力するとともに、協会・研究所の紹介を行った。

1. 開催概要

主催者：

CCMA: CHINA CONSTRUCTION MACHINERY ASSOCIATION (中国工程机械工業協会)

NCCMC: CHINA CONSTRUCTION MACHINERY CO., LTD. (中工工程机械成套有限公司)

CCPIT: CHINA COUCIL FOR THE PROMOTIION OF INTERNATIIONAL TRADE, MACHINERY SUB-COUCIL
(中国国際貿易促進委員会機械行業分会)

開催期間：2007年10月16日(火) - 19日(金)

会場：NAEC: NATIIONAL AGRICULTURE EXHIBITION CENTER (全国農業展覽館)

会場面積：調査中

出展者数：調査中

来場者数：調査中

会期中は好天に恵まれ、盛況な展示会となった。会場が直前に変更になったにも係らず、多くの企業が参加しており、屋外は特に各社がひしめき合っしのを削っていた。日本勢は現地生産品以外の輸入品も精力的に展示をしており、特に第3次排ガス規制対応の新型に力を入れていたようである。各社とも客を引き付けるための、アトラクションを派手にやっていた。

2. 特記事項

(1) 日本パビリオン

今回は、オイレス工業、千住金属工業の2社の参加であった。全体にJAPANを前面に押し出した装飾を行い、来場者の誘致に心がけた。場所も1号館入り口右側と絶好のロケーションを確保してもらい、日本パビリオンへの来場者は予想を上回るものであった。



日本建設機械化協会



オイレス工業(株)



千住金属工業(株)

(2) 10月15日：前夜祭

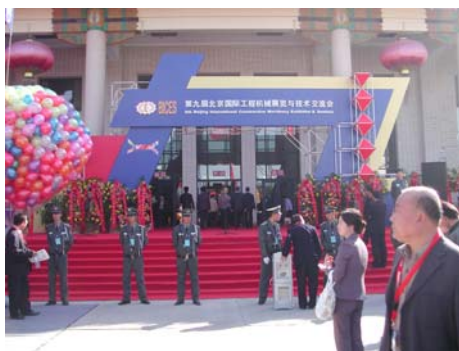
会場隣の長城シェラトンホテルで開催され、約500名程度の招待客が招かれた。出展者の一部、政府、業界関連団体、各国大使館員、メディア等が主な招待客であった。

席上主催者から、次回からメッセミュンヘン（BAUMA）と国際協力関係を結び、メッセが中国以外の出展及び来場者の誘致に全面的に協力する旨の発表が行なわれた。

同夜は出展者関連団体への表彰が行なわれた他、各国パビリオン（日本も含み）の表彰があり、記念の盾が贈られた。各種アトラクションも用意されて、食事も中華料理が供された。最近の中国の勢いを感じさせる豪華なものであった。

(3) 10月16日：開会式

会場1号館入り口にて行なわれ、主催者からの挨拶、政府関係者からの祝辞が披露された。JCMAを初め、各国展示会主催者は壇上に招待された。



開会式風景

初日の来場者は非常に多く、協会ブースにも中国の研究所や、研究機関などの来訪が多く、彼らが開催する会議、シンポ等に日本からの参加を求める声が多く、日本から最新の情報を吸収しようとする意気込みを強く感じた。

それ以外にも、一般の来場者でも、他の展示会と異なり協会の活動に興味を示す人が多かったのが印象的であった。

今回会員企業のカatalog配布を前回同様に行なった（新潟トランス、三井三池製作所、東邦地下工機の3社で各社200部を限度として持参した）が、三井の総合カタログ50部は初日で品切れとなる盛況であった。

今回は、急遽予定会場が変更となり、従来使用していた農業展覧館となり、面積が狭かったこともあり、混雑感が増したのかも知れない。



開会直後の混雑

(4) 10月17日

初日に比べると人では少なく感じたが、それでも会員企業のカatalogは一部を除き全て200部が品切れとなった。

日本パビリオンに参加した千住金属は2日目のほうが、実質的な話が多かったと手ごたえを感じていた。

出展者歓迎会（夜）

前夜祭とは別に、出展者を招待した晩餐会が催された。会場には約2000名程度の席が用意され60-70%が埋まっていたので、1200名程度の参加があったと思える。

(5) 10月18-19日

両日ともに、来場者は減少傾向であったが、協会の用意したパンフ400部は配布制限を行なう必要があったほど良く配布できた。最終日午前中には準備したものの全て配布完了であった。

3. その他

(1) 各国パビリオンとして参加していたのは、イギリス、スペイン、韓国、日本であった。中でも韓国は400㎡以上のスペースを確保し、大掛かりな出展であった。



韓国パビリオン



英国パビリオン



スペインパビリオン



日本パビリオン(1号館入り口から)

(2) 日系企業出展者

コマツ、日立建機、コベルコ、鉦研、前田製作所、いすゞ、ヤンマー、竹内、ナブテスコ、NTN、NOK、田中鉄工、コベルコクレーン、タダノ、酒井重工業、オイレス工業、千住金属 J CMA (協会調べ) の 18 社・団体であった。



コベルコ



コマツ



日立建機



ヤンマー

(3) 現地メーカー



(4) 各種セミナー

10月17日に日本、中国、韓国の3カ国によるクレーン協会シンポジウムが開催され、日本からも参加者があった。

会期中には、各団体、出展者によるセミナーが開催され、全部で17の開催があった。

メッセミュンヘンは16日にBAUMA CHINAのプレス会議、AEMは17日に、CONEXPO ASIAとCONEXPO LAS VEGASのプレス会議を開催した。

以上

(文責：JCMA業務部 国際業務担当部長 天野 裕一)